

松本ピアノと戦争

—ピアノ工場が軍需工場となつた日—

解説とピアノ演奏



戦後80年の今年は、松本ピアノ創業者・松本新吉(周南地区・常代出身)の生誕160年の年にあたります。戦時中、ピアノ工場(八重原地区・外箕輪※)は軍に接收され海軍航空廠の軍需工場になっていました。戦争に翻弄された時代を生き抜いた松本ピアノの歴史を、残された貴重な資料展示と解説、ピアノ演奏とともに紐解きます。

※現在ピアノ工場の建物はありません

とき：12月21日(日) 10:00～12:00 (受付9:30～)

ところ：周南公民館（松本ピアノ所蔵）君津市大山野26

講 師：《展示解説》布施 慶子 氏（久留里城址資料館 主査）

《演奏と解説》佐藤 かおる 氏・松岡 知子 氏（松本ピアノ・オルガン保存会）

参加費：無料

定 員：50名（先着順） 申込方法は裏面をご覧ください

内 容

「松本ピアノと戦争」展示解説

展示資料（一部）

古写真、実物資料、複製絵画など約30点。

希少な航空計器の部品や工具も初公開。

松本ピアノと戦争の関わりについて解説します。

ピアノ演奏と解説

音楽は時に人々を争いへと駆り立てるものとして使われ、一方で平和への祈りでもあります。それぞれの曲の背景を解説しながら演奏します。（周南公民館の松本ピアノを使用）

演奏プログラム

♪叙情歌メドレー

里の秋、夕焼け小焼け、紅葉 ほか

♪E・グリーグ/ペール・ギュントより 朝

♪A・ハチャトゥリアン/仮面舞踏会より
ワルツ

♪P.A.チャイコフスキー/くるみ割り人形より
小序曲、行進曲、トレバーク

♪萩森 英明 編曲/
クリスマス・フェスティバル



佐藤 かおる Kaoru Sato

国立音楽大学ピアノ科卒業。洗足学園音楽大学マスターコース。ベルギーサンジェルアカデミーにてチェンバロ、フォルテピアノ、パイプオルガン、室内楽を学ぶ。

千葉交響楽団、リマト室内合奏団等でチェンバロ演奏者として出演している。



松岡 知子 Tomoko Matsuoka

兵庫県出身。国立音楽大学附属音楽高校を経て同大学器楽学科ピアノ専攻卒業。平尾はるなピアノアカデミー在籍。'22年君津市文化ホールにてリサイタル開催。君津市民合唱団、コーラスあじさいのピアニスト。松本ピアノ・オルガン保存会会員。自宅にてピアノレッスン主宰。

<https://tomo-piano.jimdofree.com>

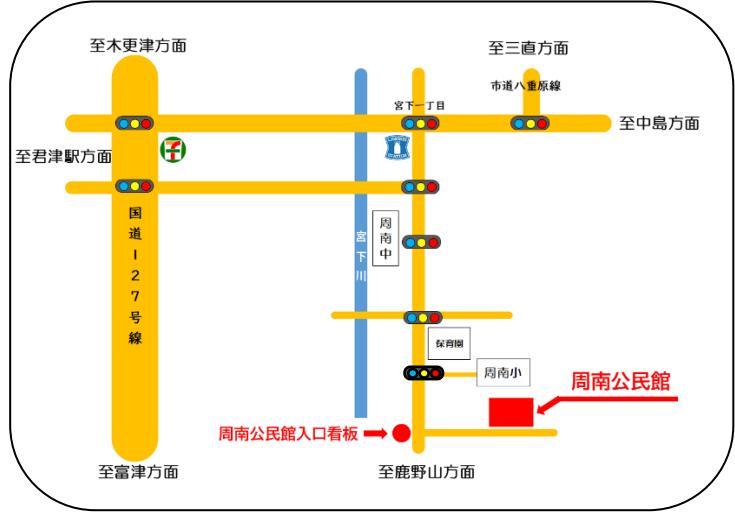
◆申し込み方法

右の QR コードをスマートフォンで読み込み、申込フォームから入力
または、
周南公民館 (52-4915)
八重原公民館 (55-1840)
に電話でお申し込みください。



申し込みフォーム

◆交通アクセス



〈お問い合わせ〉

周南公民館(君津市大山野 26) TEL 0439-52-4915 メール sunami-k@city.kimitsu.lg.jp

八重原公民館(君津市南子安 9-17-2) TEL 0439-55-1840 メール yaehara-k@city.kimitsu.lg.jp